

事務事業評価シート(平成19年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名		担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名			
03206	最終処分場管理事業		住民税務課	生活環境係	野澤 修一	赤羽 博			
	一次評価年月日	平成 20 年 7 月 30 日	連絡先(内線)	2128					
事務事業実施の根拠・位置づけ	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)					
	☒	一般	☐	特別	0461	塵芥処理事業			
	☐	一般	☒	特別	#N/A				
	章 (コード選択)		1章	美しく豊かな自然環境					
	節 (コード選択)		節	地球環境を守る					
	項[基本施策] (コード選択)		142	公害のないまちづくり					
主な取り組み (コード選択)		#N/A							
関連する計画等への位置づけ		☐	第四次行財政改革大綱	☐	3ヶ年実施計画	☒	主要業務報告	☐	その他
事務期間		(開始)	52 年度 ~ (終了予定)	年度	L	開始時期不明	☒	終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

北大出最終処分場及び地元区、隣接住民、隣接関係者
上野最終処分場(跡地)及び地元地区

上野最終処分場(跡地)及び地元地区

北大出・上野最終処分場について、迷惑施設の問題を払拭するとともに、地下水の水質の安全を確認する。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	北大出最終処分場の草刈等環境整備の実施
2	北大出及び上野の最終処分場水質検査の実施
3	
4	

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		18年度	19年度	20年度(見込み)	21年度(見込み)	22年度	23年度(見込み)		
①	指標名	北大出最終処分場の草刈等環境整備の実施回数(年)		回	1	1	2	2	2
	説明	春・秋の季別毎に草刈等環境整備実施予定		目標値設定の根拠	春・夏・秋の季別毎に草刈等環境整備実施予定				
②	指標名	北大出及び上野の地下水検査実施回数		回	2	2	2	2	2
	説明	各年1回、定期的に水質検査を実施		目標値設定の根拠	年1回実施				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		18年度	19年度	20年度(見込み)	21年度(見込み)	22年度	23年度(見込み)		
①	指標名	作業に携わった職員数		人	3	3	6	6	6
	説明	作業人員(延べ数)		目標値設定の根拠	作業に携わる人員がH18より1名減。				
②	指標名	環境基準を上回った検査項目数		数	0	0	0	0	0
	説明	検査項目数(上野=9)(北大出=30)計39項目		目標値設定の根拠	環境基準等の基準値が定められている				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 ☒ 決算書・予算書等に記載の数字 ☐ 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	422	496	582	582
対前年比		%		117.6	117.4	100
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)						
B) 一般財源(税金)						
①事業費		(千円)	251	235	236	236
対前年比		%		93.6	100.4	100
②人件費の概算		(千円)	171	261	346	346
対前年比		%		152.7	132.6	100
	課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費
	H19 H20 H21	H19 H20 H21	H19 H20 H21	H18 H19 H20 H21	H18 H19 H20 H21	年間人件費
町職員(正規職員)	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.01 0.02 0.02	0.02 0.03 0.03	0.02 0.04 0.05	171 261 346
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)				0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	C	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → 他町有地の草刈と時期が重複し、草刈機等の借用に苦慮し適時での作業が困難。 D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある → C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	C	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している → 上野地区は、地元の要望で検査を実施。北大出は町の管理地。 C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

草刈機等の確保ができれば、適時での作業ができ、コスト削減も可能と考え

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
- b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
- c 効率化を図る(コストを下げる)
- d 縮小する(簡素化する)
- e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

北大出最終処分場の水質検査は県への報告があり毎年実施。上野地区は、地元要望での検査であり、地元の了承が得られれば隔年実施を検討したい。上野最終処分場の擁壁補修が地元より要望として出され、20年度に改修予定。

20年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

予算4,000千円で改修予定

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

※上野最終処分場の擁壁補修が地元より要望として出されている。

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

現在の水質検査と周辺の草刈りなどの環境整備は、将来にわたり行っていかなければならない最低限の管理であるが、施設の老朽化による補修なども必要になることも有ろう。

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
- B. 貢献度 中
- C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



上記 a~e を選択